

8-1-7 人と自然との触れ合いの活動の場

(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場

① 調査結果の概要

ア. 人と自然との触れ合いの活動の場の状況

(ア) 文献その他の資料調査

a. 調査地域

土砂運搬車両、工事用資材等の搬出入に用いる車両が集中する主要な輸送経路である国道 148 号、県道山之坊大峰小滝線及びその周辺とした。

b. 調査地点

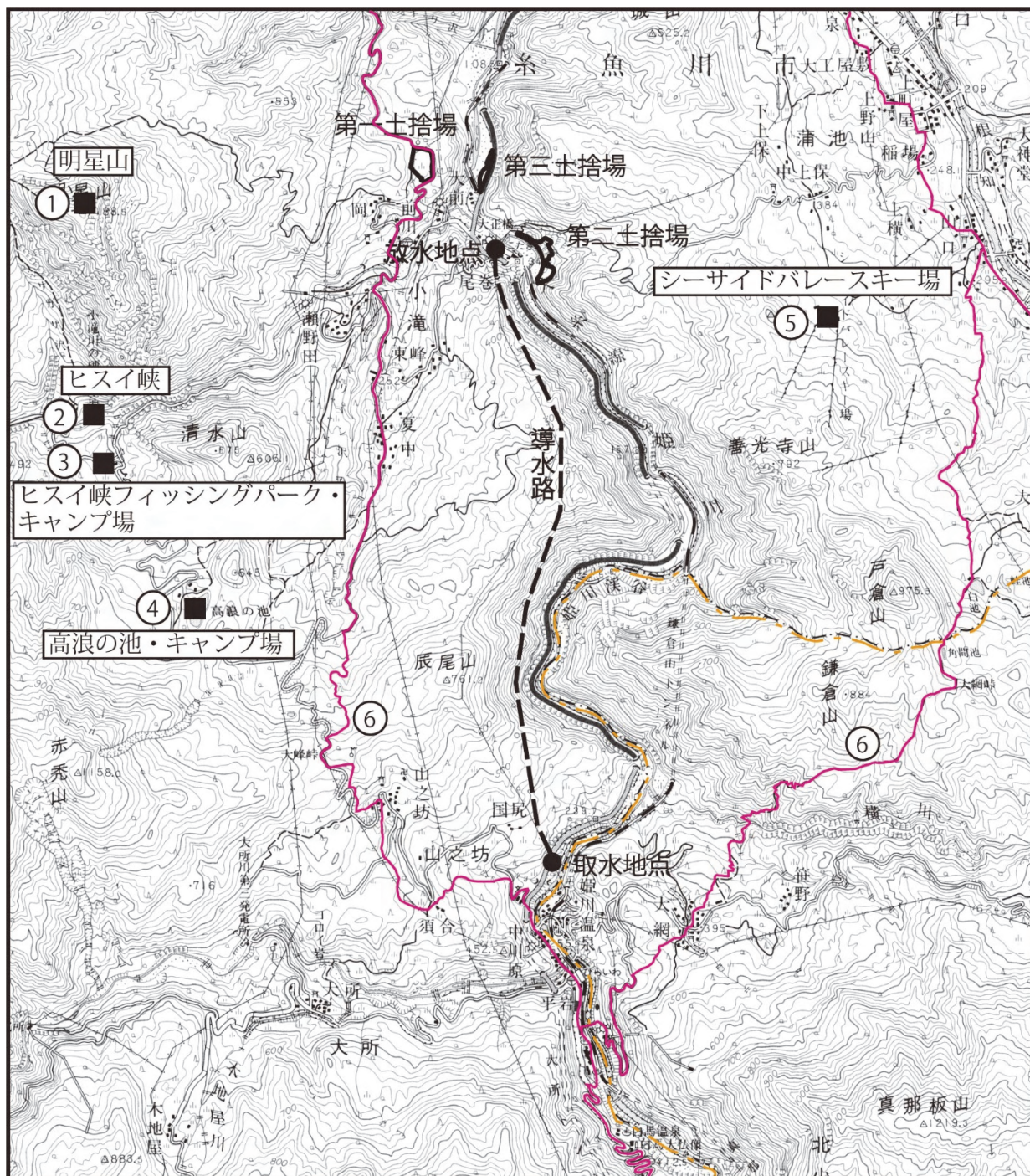
第 8-1-7-1 図に示す、人と自然との触れ合いの活動の場 6 地点とした。

c. 調査方法

調査地域における人と自然との触れ合いの活動の場について、糸魚川市、小谷村資料による情報収集並びに当該情報の整理及び解析を行った。

d. 調査結果

人と自然との触れ合い活動の場の概要は、第 8-1-7-1 表に示すとおりである。



凡 例

人と自然とのふれあいの活動の場

■ : 拠点

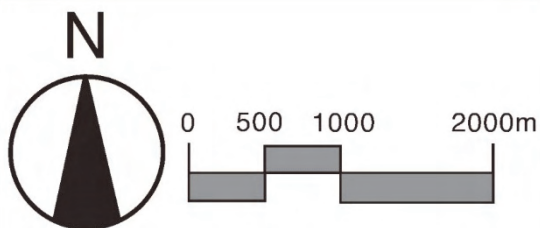
— : 塩の道トレイル

出典: いといがわ観光ガイド 糸魚川市 HP
長野県小谷村の観光公式サイト 小谷村 HP
塩の道トレイル 小谷村商工会 HP

--- : 県境

●—● : 対象事業実施区域

第 8-1-7-1 図 人と自然との触れ合いの活動の場の位置



1:50,000

第 8-1-7-1 表 人と自然との触れ合いの活動の場の概要

図中 番号	名称	利用 形態	対象事業実施区域 との位置関係 方向、距離、景観区分		概 要
			発電所	取水堰堤	
1	明星山	登山	西 3.2km 中景	北西 6.3km 遠景	白馬山麓県立自然公園にあり、日本有数のロッククライミングのゲレンデとして有名。切り立った岩肌が独特の景観を呈する。
2	ヒスイ峡	観光	南西 3.4km 中景	北西 5.0km 遠景	糸魚川ジオパークのジオサイト。「小滝川硬玉産地」として天然記念物に指定され、ヒスイの産地として多くの人に親しまれている。
3	ヒスイ峡フィッシングパーク・キャンプ場	レク	南西 3.4km 中景	北西 4.7km 中景	川の流れを引き込んだ人工の溪流で、初心者でも気軽に溪流釣りの気分が味わえる。
4	高浪の池・キャンプ場	レク	南西 3.7km 中景	北西 3.4m 中景	白馬山麓国民休養地内にある高原の池。施設内には高原交流センター、売店、キャンプ場、グラウンドゴルフ場なども整備されている。
5	シーサイドバレースキー場	レク	東 2.7km 中景	北東 4.7km 中景	糸魚川 IC から約 15 分の白馬山麓にあるスキー場。日本海を見ることもでき、眺望のよさで人気がある。
6	塩の道トレイル	レク	北西 0.8km 近景	南西 0.2km 近景	新潟県糸魚川市から長野県の中信松本市までに及ぶ全長 120km のトレッキングルート。一部が第一土捨場の脇を通る。

注：1. 表中番号は第 8-1-7-1 図に対応する。

2. 「利用形態」の内容は以下のとおりである。

登山：主に登山を目的として利用される。

観光：主に観光を目的として利用される。

レク：主にスポーツ、レクリエーションを行うことを目的として利用される。

糸魚川市観光協会 HP、小谷村観光連盟 HP より作成。

イ．主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布

(ア) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布

「ア．人と自然との触れ合いの活動の場の状況」で調査した 6 地点のうち、主要な輸送経路がアクセスルートとなる、「明星山」、「ヒスイ峡」、「ヒスイ峡フィッシングパーク・キャンプ場」、「高浪の池・キャンプ場」及び土砂搬入ルートと重なる「塩の道トレイル」の 5 地点を主要な人と自然との触れ合いの活動の場として抽出した。

ウ．主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用の状況及び利用環境の状況

(ア) 文献その他の資料調査

a. 調査地域

土砂運搬車両、工事用資材等の搬出入に用いる車両が集中する主要な輸送経路である国道 148 号、県道山之坊大峰小滝線及びその周辺とした。

b. 調査地点

主要な人と自然との触れ合いの活動の場として選定した 5 地点のうち、利用状況に関する情報が得られた地点とした。

c. 調査方法

糸魚川市交流観光課資料により、整理及び解析を行った。

d. 調査結果

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の平成 24 年度から平成 28 年度までの利用状況は、第 8-1-7-2 表のとおりである。また、平成 28 年度の月別の利用者数は第 8-1-7-3 表に示すとおりである。

第 8-1-7-2 表 人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況

(単位：人)

年度	明星山登山	小滝川ヒスイ峡	高浪の池	塩の道古道
H24	1,010	26,050	28,940	880
H25	1,000	24,080	26,760	880
H26	750	15,960	17,720	840
H27	750	15,610	17,360	820
H28	750	14,540	16,130	980

注：小滝ヒスイ峡はヒスイ峡のみ フィッシングパークを含まず

高浪の池は、キャンプ場、ゴルフ場などを含む

塩の道古道の利用者数は、塩の道（西回り、東回り）全体の推計値

出典：糸魚川市資料

第 8-1-7-3 表 平成 28 年度の月別利用者数

(単位：人)

月	明星山登山	小滝川ヒスイ峡	高浪の池	塩の道古道
4 月	0	210	230	140
5 月	0	2,690	2,990	210
6 月	150	1,430	1,590	210
7 月	150	2,000	2,230	70
8 月	150	2,900	3,220	70
9 月	150	1,750	1,950	70
10 月	150	2,530	2,820	160
11 月	0	1,030	1,100	50
12 月	0	0	0	0
1 月	0	0	0	0
2 月	0	0	0	0
3 月	0	0	0	0
合計	750	14,540	16,130	980

注：小滝ヒスイ峡はヒスイ峡のみ フィッシングパークを含まず

高浪の池は、キャンプ場、ゴルフ場などを含む

塩の道古道の利用者数は、塩の道（西回り、東回り）全体の推計値

出典：糸魚川市資料

(イ) 現地調査

a. 調査地域

土砂運搬車両、工事用資材等の搬出入に用いる車両が集中する主要な輸送経路である国道 148 号、県道山之坊大峰小滝線及びその周辺とした。

b. 調査地点

主要な人と自然との触れ合いの活動の場として選定した 5 地点とした。

c. 調査方法

現地踏査、施設管理者への聞き取りなどにより、利用状況等について整理及び解析を行った。

d. 調査結果

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況の調査結果は第 8-1-7-4 表に示すとおりである。

第 8-1-7-4 表 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況等

図中 番号	名称	対象事業実施区域 との位置関係 方向、距離、景観区分		利用状況	利用環境等
		発電所	取水堰堤		
1	明星山	西 3.2km 中景	北西 6.3km 遠景	日本有数のロッククライミングのゲレンデとして利用されている。夏季に利用されている。	石灰岩質で岩肌がむき出しの容姿をしている。主要なアクセスルートは県道山之坊大峰小滝線を通行する。
2	ヒスイ峡	南西 3.4km 中景	北西 5.0km 遠景	自然景観の探勝地として利用されている。ヒスイ産地として有名で、多くの人に親しまれている。春季から夏季に利用されている。	溪谷、明星山を望む展望台が設置されている。主要なアクセスルートは県道山之坊大峰小滝線を通行する。
3	ヒスイ峡フィッシングパーク・キャンプ場	南西 3.4km 中景	北西 4.7km 中景	家族連れなどに利用されている。	初心者向けに整備された釣り施設である。主要なアクセスルートは県道山之坊大峰小滝線を通行する。
4	高浪の池・キャンプ場	南西 3.7km 中景	北西 3.4m 中景	自然探勝のほか、併設されているキャンプ場、グラウンドゴルフ場も利用されている。春季から秋季に利用されている。	広場のほかキャンプ場、グラウンドゴルフ場がある。主要なアクセスルートは県道山之坊大峰小滝線を通行する。
5	塩の道トレイル	北西 0.8km 近景	南西 0.2km 近景	塩の道を歩くイベントが開かれ、利用されている。春季から秋季に利用されている。	糸魚川から松本へ抜ける街道。コースはエリア分けされており、利用者が任意で選択できる。

注：表中番号は第 8-1-7-1 図に対応する。

エ. 河川の利用状況

(ア) 現地調査

a. 調査地域

減水区間の姫川とした。

b. 調査地点

河川を見渡せる地点、又は調査のため河川内に立ち入った地点など。

c. 調査期間

1年間とし、特に調査期日を設けず、水質調査や動植物調査などのほかの項目で現地入りする際に、河川の利用状況の確認に努めた。

d. 調査方法

調査時に河川を見渡せる地点で河川内を観察し、利用状況を確認した。

e. 調査結果

現地調査の結果、減水区間である姫川第六発電所取水堰堤から予備放水路放水口までの間で、釣り、散策など、河川を利用している状況は見られなかった。

なお、小滝川合流後より下流では、釣り、石拾いなどの利用が見られた。

オ．交通量に係る状況

(ア) 文献その他の資料調査

a. 調査地域

土砂運搬車両、工事用資材等の搬出入に用いる車両が集中する主要な輸送経路である国道 148 号、県道山之坊大峰小滝線及びその周辺とした。

b. 調査地点

第 8-1-7-2 図に示す、主要な人と自然との触れ合いの活動の場のアクセスルートのうち、主要な輸送経路である国道 148 号及び県道山之坊大峰小滝線の 2 路線とした。

c. 調査期間

入手可能な最新の資料とした。

・平成 17、22、27 年度

d. 調査方法

「道路交通センサス一般交通量調査」(国土交通省 平成 19 年、24 年)、「平成 27 年度全国道路・街路交通情報調査 一般交通量調査 集計表」(国土交通省 平成 29 年)による情報収集並びに当該情報の整理及び解析を行った。

e. 調査結果

交通量の調査結果は、第 8-1-7-5 表に示すとおりである。

第 8-1-7-5 表 交通量調査結果(文献等資料)

番号	路線名	交通量観測地点地名	年度	昼間12時間自動車類交通量			24時間自動車類交通量		
				小型車 (台)	大型車 (台)	合計 (台)	小型車 (台)	大型車 (台)	合計 (台)
①	一般国道 1 4 8 号	糸魚川市大字中川原地内	H17	2,044	1,587	3,631	2,434	3,196	5,630
			H22	1,529	1,014	2,543	1,786	2,241	4,027
			H27	1,997	917	2,914	2,390	1,921	4,311
②	一般県道山之坊大峰小滝線		H17	390	94	484	496	104	600
			H22	347	84	431	436	120	556
			H27	309	74	383	398	108	506

注：昼間は7時～19時の12時間
一般県道山之坊大峰小滝線の交通量は推定値

出典：平成 17、22 年度道路交通センサス(国土交通省、平成 19、24 年)

平成 27 年度 全国道路・街路交通情報調査 一般交通量調査 集計表

(イ) 現地調査

a. 調査地域

土砂運搬車両、工事用資材等の搬出入に用いる車両が集中する主要な輸送経路である国道 148 号、県道山之坊大峰小滝線及びその周辺とした。

b. 調査地点

第 8-1-7-2 図に示す、主要な人と自然との触れ合いの活動の場のアクセスルートのうち、主要な輸送経路である県道山之坊大峰小滝線沿いの交通量調査地点(小滝集落)1 地点とした。

c. 調査期間

道路交通量の状況を代表する平日と休日(土曜日)のそれぞれ 1 日、昼間の時間帯とした。

- ・ 平日 平成 27 年 12 月 8 日(火) 6 時～22 時
- ・ 休日 平成 28 年 6 月 18 日(土) 6 時～22 時

d. 調査方法

カウンターを用いて調査地点の方向別、車種別交通量を把握した。交通量調査に用いた車種分類は第 8-1-7-6 表に示すとおりであり、大型車類、小型車類及び二輪車に分類した。

第8-1-7-6表 交通量調査で用いた車種分類

車種分類		ナンバープレートの頭一文字及び分類条件
大型車類	大型車	1及び2（大型番号標）、0、9
	中型車	1及び2（中型番号標）
小型車類	小型車	3、4、5、6、7
二 輪 車		自動二輪車、原動機付自転車

注：8 ナンバーの特殊用途自動車は、実態によって区分した。

e. 調査結果

交通量の調査結果は、第 8-1-7-7 表に示すとおりである。

第 8-1-7-7 表 交通量調査結果

地点 時間 車種分類	小滝集落 県道山之坊大峰小滝線	
	平日	休日
	平成 27 年 12 月 8 日(火)	平成 28 年 6 月 18 日(土)
	昼間 (6～22 時)	昼間 (6～22 時)
大型車	14	27
小型車	256	431
二輪車	4	19
合計	274	477

注：「昼間」は騒音に係る環境基準の昼間の時間帯 6 時～22 時

② 予測及び評価の結果

ア. 工事の実施

(ア) 工事用資材等の搬出入

a. 環境保全措置

工事用資材等の搬出入に伴う交通量が主要な人と自然との触れ合いの活動の場へのアクセスルートに与える影響を低減するため、以下の環境保全措置を講じる。

- ・工事用資材等の搬出入車両台数の平準化により、ピーク時の工事用資材等搬出入車両台数の低減を図る。
- ・土捨場を 3 箇所分散することにより、小滝集落を通過する工事用車両台数の低減を図る。
- ・工事関係者の通勤は乗り合いを促進することで、通勤車両台数の低減を図る。
- ・道路には誘導員を置き、地元車両、一般車両を優先した交通整理を行う。
- ・原則として人と自然との触れ合いの活動の場の利用が多い日曜は、工事を行わない。
- ・定例会議等にて、環境保全措置を工事関係者に周知徹底する。

b. 予測地域

土砂運搬車両、工事用資材等の搬出入に用いる車両が集中する主要な輸送経路である国道 148 号、県道山之坊大峰小滝線及びその周辺とした。

c. 予測地点

主要な人と自然との触れ合いの活動の場として選定した「明星山」、「ヒスイ峡」、「ヒスイ峡フィッシングパーク・キャンプ場」、「高浪の池・キャンプ場」へのアクセスルートである県道山之坊大峰小滝線沿いの交通量調査地点（小滝集落）の 1 地点とした。

d. 予測対象時期

県道山之坊大峰小滝線において、工事用資材等の搬出入に伴う交通量が最大となる工事開始後 2 ヶ月目の平日及び休日（土曜日）とした。

e. 予測手法

工事用資材等の搬出入に伴う主要な人と自然との触れ合いの活動の場へのアクセスルートにおける交通量の変化を予測した。

交通量の変化は、将来交通量のうち工事関係車両の占める割合を用いて予測した。

f. 予測結果

予測地点における将来交通量は、第 8-1-7-8 表のとおりである。一般交通量については、第 8-1-7-5 表に示した道路交通センサスの結果より交通量の増加傾向が見られないため、現状のまま推移するものとした。

予測地点における工事関係車両の占める割合は、37.2～50.7%と予測される。

第 8-1-7-8 表 交通量予測結果(工事開始 2 ヶ月目、上段：平日、下段：休日)

【平日】

車種区分	小滝集落（県道山之坊大峰小滝線）				工事関係 車両の 割合 （%） b/（a+b）
	現状	将 来			
	一般車両	一般車両 a	工事 関係車両 b	合計 a+b	
大型車	14	14	280	294	
小型車	256	256	2	258	
二輪車	4	4	0	4	
合計	274	274	282	556	50.7

【休日】

車種区分	小滝集落（県道山之坊大峰小滝線）				工事関係 車両の 割合 (%) b/(a+b)
	現状	将 来			
	一般車両	一般車両 a	工事 関係車両 b	合計 a+b	
大型車	27	27	280	307	
小型車	431	431	2	433	
二輪車	19	19	0	19	
合計	477	477	282	759	37.2

注：交通量は 6 時～22 時（昼間の時間帯）の交通量。

g. 評価の結果

(a) 環境影響の回避・低減に関する評価

工事用資材等の搬出入に伴う交通量が主要な人と自然との触れ合いの活動の場へのアクセスルートに与える影響を低減するための環境保全措置は以下のとおりである。

- ・工事用資材等の搬出入車両台数の平準化により、ピーク時の工事用資材等搬出入車両台数の低減を図る。
- ・土捨て場を3箇所分散することにより、小滝集落を通過する工事用車両台数の低減を図る。
- ・工事関係者の通勤は乗り合いを促進することで、通勤車両台数の低減を図る。
- ・道路には誘導員を置き、地元車両、一般車両を優先した交通整理を行う。
- ・原則として人と自然との触れ合いの活動の場の利用が多い日曜は、工事を行わない。
- ・定例会議等にて、環境保全措置を工事関係者に周知徹底する。

これらの措置を講じた後の予測地点における交通量に占める工事関係車両の割合は37.2～50.7%であり、工事用資材等の搬出入に伴う交通量が主要な人と自然との触れ合いの活動の場へのアクセスに及ぼす影響は少なくないが、交通量の影響が最大となる時期を短くすること、交通誘導員による地元車両、一般車両優先の交通整理を徹底することとする。

以上のことから、工事用資材等の搬出入に伴う交通量が主要な人と自然との触れ合いの活動の場へのアクセスルートに与える影響は、実行可能な範囲内でできる限り低減が図られているものと評価する。